

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について
(2024年3月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2024年3月に適用する1㎡当たりの単位料金を、2024年2月検針分に適用の料金に比べ4.12円(消費税込)上方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2024年3月検針分の単位料金は、2023年10月から2023年12月の平均原料価格に基づき算出しました。

また、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引き(1㎡あたり税込み15円)が反映されております。

この結果、1か月に32㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、2024年2月検針分に比較して、132円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			2024年3月適用 単位料金(円/㎡)	2024年2月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	814	198.19	194.07	160.00
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,329	172.39	168.27	134.20
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,632	166.34	162.22	128.15
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,214	158.44	154.32	120.25
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,402	153.56	149.44	115.37
料金表F	750㎡をこえるもの	10,847	146.32	142.20	108.13

※2023年10月適用単位料金より1㎡につき税込15円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2024年3月検針分の料金	2024年2月検針分の料金	影 響 額
32㎡ (45MJ/㎡)	6,845円	6,713円	132円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2023年10月～2023年12月の 平均原料価格 (b)	96,740 円/t
LNG価格	95,660 円/t
LPG価格	94,060 円/t
差 額 (b-a)	62,040 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	95,660 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	94,060 円/t	×	0.0513
			96,735.406 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			96,740 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$96,740 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 62,040 \text{ 円/t}$$

$$\downarrow \text{ (100円未満切り捨て)}$$

$$62,000 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 62,000 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 53.196 \text{ 円}$$

$$\downarrow \text{ (小数点第3位以下切り捨て)}$$

$$53.19 \text{ 円}$$

$$\text{激変緩和対策} \quad 1\text{m}^3\text{あたり} \quad -15\text{円を反映} \quad = \quad 38.19 \text{ 円}$$